

JR中央本線(三鷹駅~立川駅間)他 連続立体交差事業の概要



東 京 都
三鷹市・武蔵野市・小金井市
国分寺市・国立市・立川市
東日本旅客鉄道株式会社
西武鉄道株式会社

事業のあらまし

JR中央本線の三鷹駅付近から立川駅付近にかけて、道路と鉄道との連続立体交差事業をすすめています。

この事業は中央本線の三鷹駅～立川駅間約13.1kmの区間及び西武鉄道多摩川線武蔵境駅付近を連続立体交差化し、18箇所の踏切道を解消するとともに、9箇所の都市計画道路を立体化し、あわせて側道を整備するものです。

これにより、つぎのような事業効果があります。

事業の効果

交通の円滑化

- 踏切がなくなり、交通渋滞が解消されます。

安全性の向上

- 踏切事故がなくなり、道路と鉄道のそれぞれの安全性が向上します。

地域の発展

- 鉄道により隔てられていた街の一体化により、地域の活性化に強いインパクトをあたえます。

利便性の向上

- 各駅にエレベーター、エスカレーターが設置され、誰もが快適に使えるようになります。
- 新たに生み出される高架下空間の有効利用ができます。
- 鉄道輸送の安全性及び輸送力の増大に寄与します。

経緯

昭和44年 4月	荻窪～三鷹間複々線高架化供用開始
昭和55年～56年度	「中央線三鷹・立川間他連続立体交差事業調査」を実施
平成 6年 5月	都市計画決定の告示
平成 7年11月	事業認可を取得(JR中央本線)
平成11年 3月	工事着手(JR中央本線)



完成イメージ図

事業の概要

都市高速鉄道(平成6年5月11日都市計画決定)

(1)東日本旅客鉄道中央本線

- ①区 間……三鷹(三鷹市下連雀三丁目)～立川(立川市錦町一丁目)間の約13.1km
- ②構造形式……1)在来線:高架方式 2)計画線:地下方式
- ③駅 施設……武蔵境駅・東小金井駅・武蔵小金井駅・国立駅
 - 1)ホーム延長:210m～220m(10両編成) 2)ホーム幅員:約5m～約9m
 - 3)各ホームにエレベーター・エスカレーターを設置

(2)西武鉄道多摩川線

- ①区 間……武蔵境駅付近の約0.8km
- ②構造形式……高架方式
- ③駅 施設……武蔵境駅
 - 1)ホーム延長:90m(4両編成) 2)ホーム幅員:約7m～約8m
 - 3)ホームにエレベーター・エスカレーターを設置

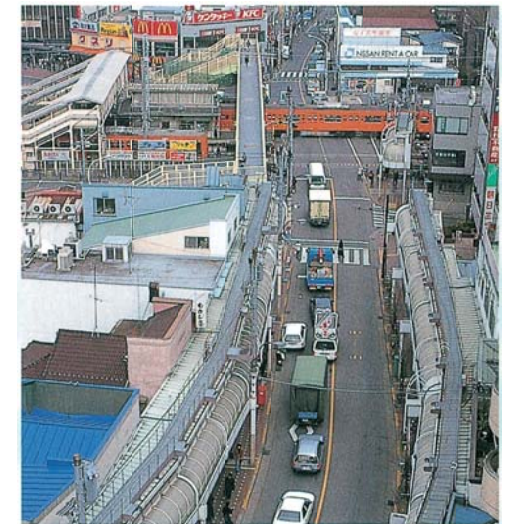
都市高速鉄道付属街路(平成6年5月11日都市計画決定)

幅員:6m～約14m、路線数12本

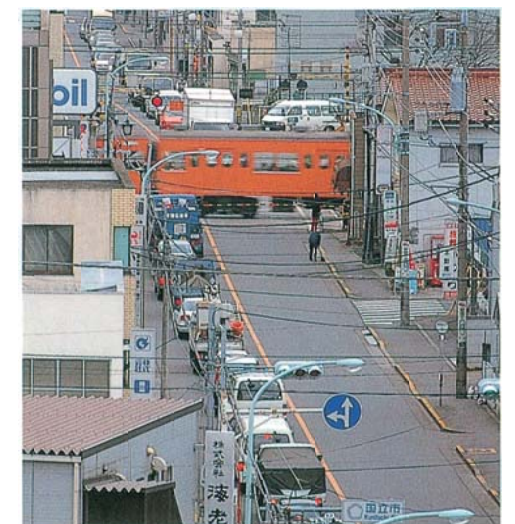
立体交差化されることにより解消される踏切(18カ所)

踏切名称	道路名称	現況幅員
新道北	都計道三3・2・6	1.8m(車両通行止)
五宿	主要地方道 12号	10.0m
天文台※1	一般都道 123号	8.5m(一方通行)
境西※2	市道 81号	1.8m(車両通行止)
山中※3	都計道武3・4・24	6.0m(一方通行)
西原	市道 89号	2.5m(車両通行止)
梶野新田	市道 13号	3.0m(車両通行止)
東町	都計道小3・4・11	5.5m(一方通行)
中町	市道 28号	6.0m
緑町	都計道小3・4・12	7.3m
小金井街道	主要地方道 15号	11.7m
本町	市道 396号	7.0m
弁天道	一般都道 134号	10.0m
西二条	都計道国立3・4・14	4.5m(一方通行)
西四条	市道 北8-14号	4.5m
西五条	市道 西1-1号	1.5m(車両通行止)
国立	主要地方道 43号	12.0m
野沢	市道 南392号	4.4m(一方通行)

※1～3は西武鉄道の踏切名称では右記のとおりです。 ※1…武蔵境1号、※2…武蔵境2号、※3…武蔵境3号



小金井街道踏切



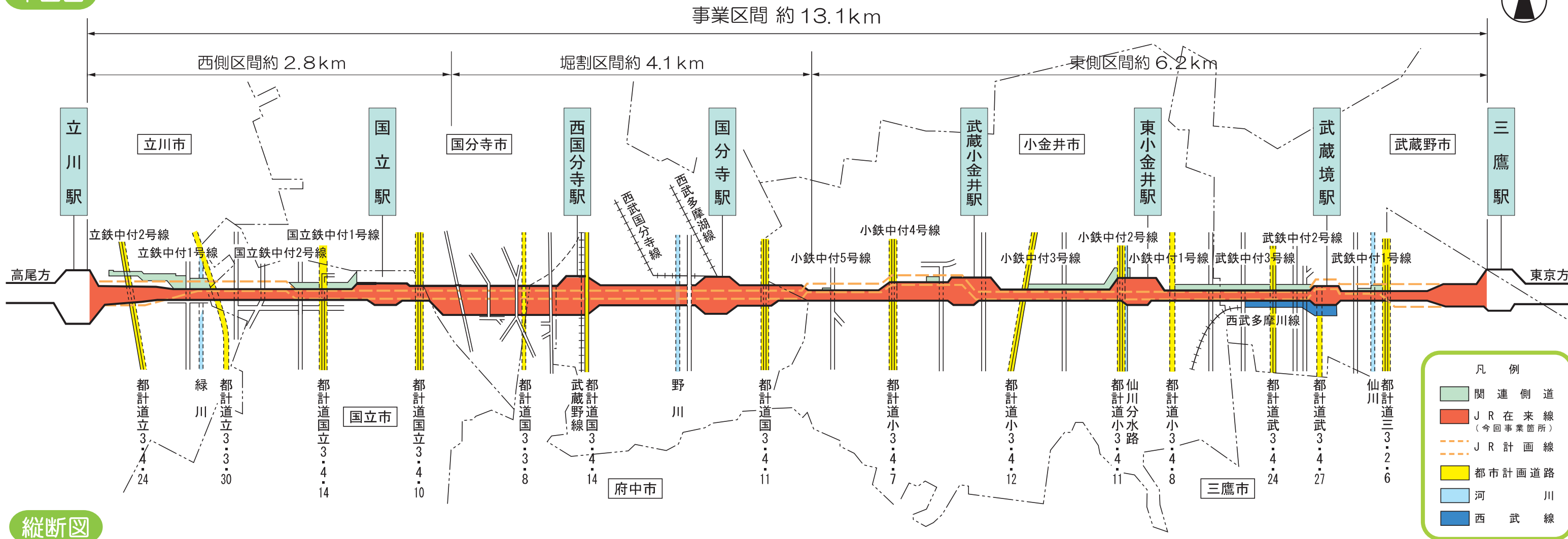
国立踏切

立体交差される都市計画道路(9カ所)

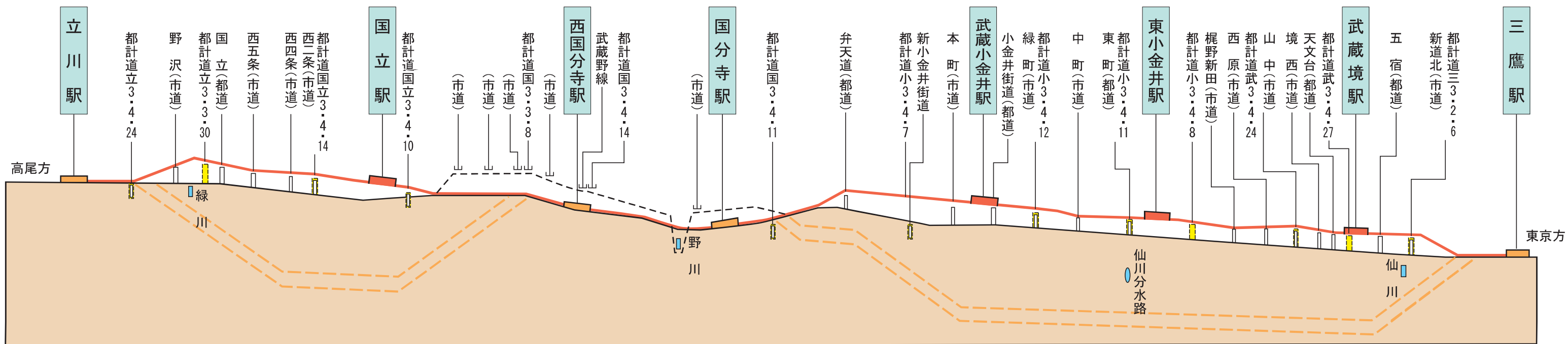
都市計画道路名	現計画幅員(鉄道横断部)	摘要
三鷹 3・2・6	36.0m	新道北踏切
武蔵野 3・4・24	16.0m	山中踏切
武蔵野 3・4・27	16.0m	
小金井 3・4・8	16.0m	
小金井 3・4・11	18.0m	東町踏切
小金井 3・4・12	16.0m	緑町踏切
国立 3・4・10	16.0m	
国立 3・4・14	16.0m	西二条踏切
立川 3・3・30	20.7m	

東日本旅客鉄道中央本線

平面図



縦断面図

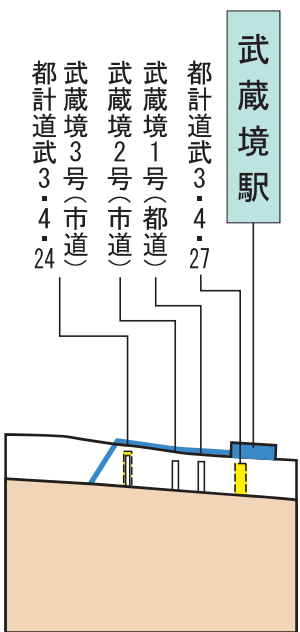
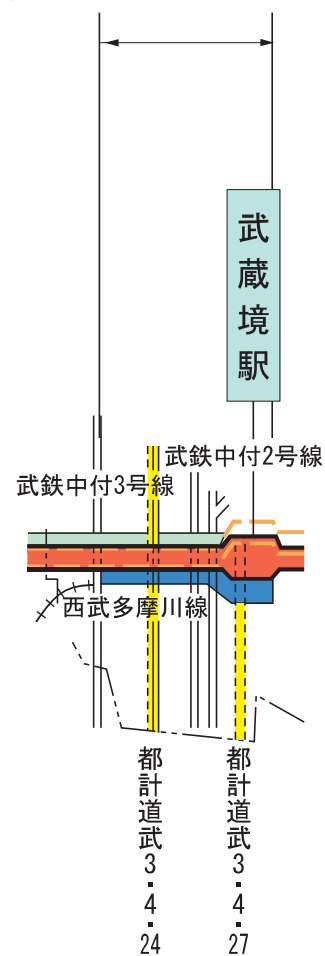


西武鉄道多摩川線

施工順序

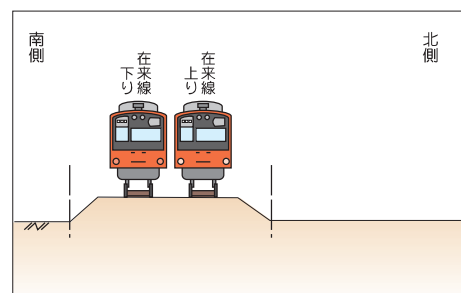
標準断面図

事業区間 約 0.8km



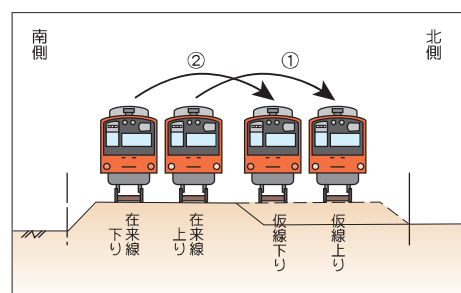
現状

在来線は複線で西国分寺駅付近の堀割部を除き地表に設置されています。
18カ所の踏切があり、1日当り約700本の列車が運行しています。



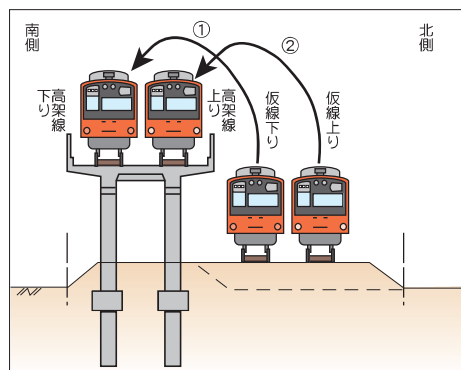
STEP 1

在来線の北側に用地を確保し、仮線、仮駅舎、仮駅前広場などを整備して在来線を切り換えます。



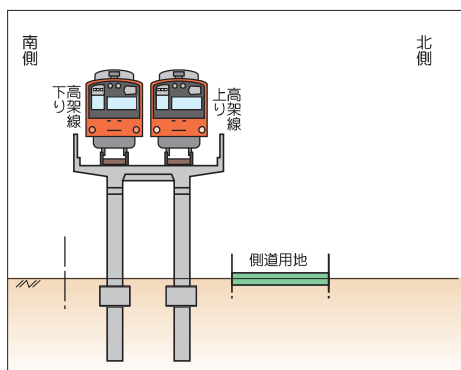
STEP 2

その後、空いた在来線鉄道用地に複線高架橋を建設します。複線分の建設用地を確保できない箇所は、1線ずつ高架橋を建設し順次切り換えを行います。

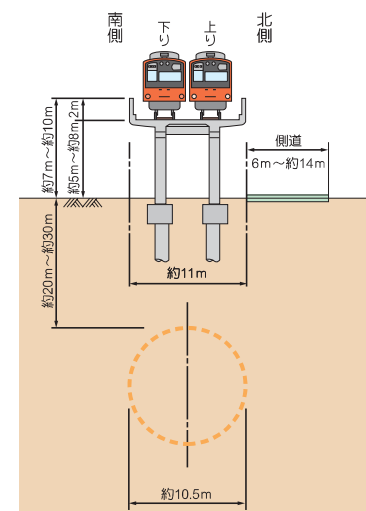


STEP 3

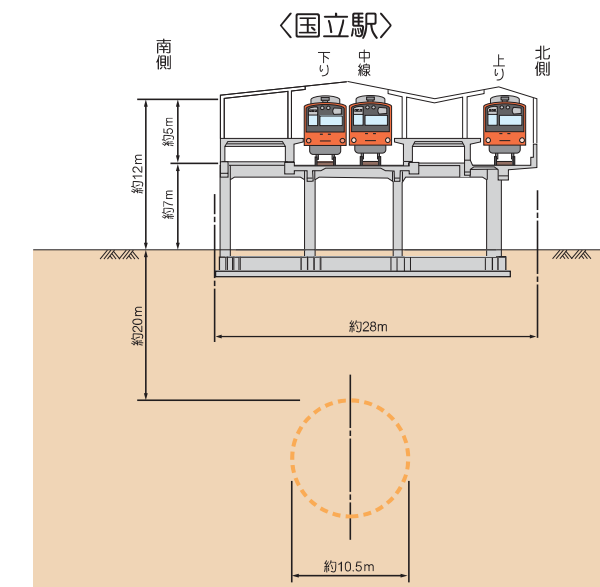
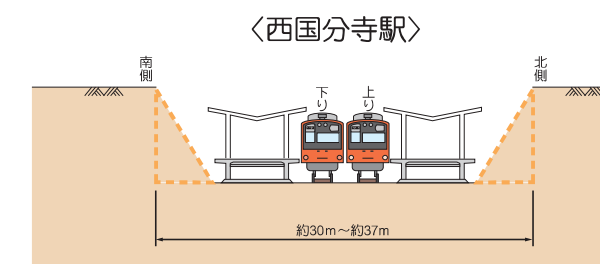
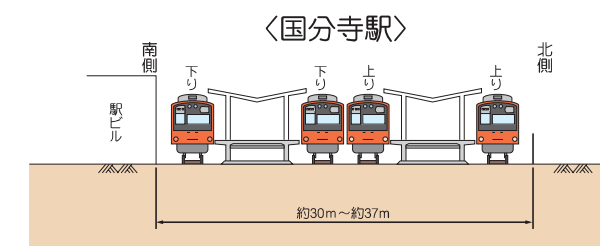
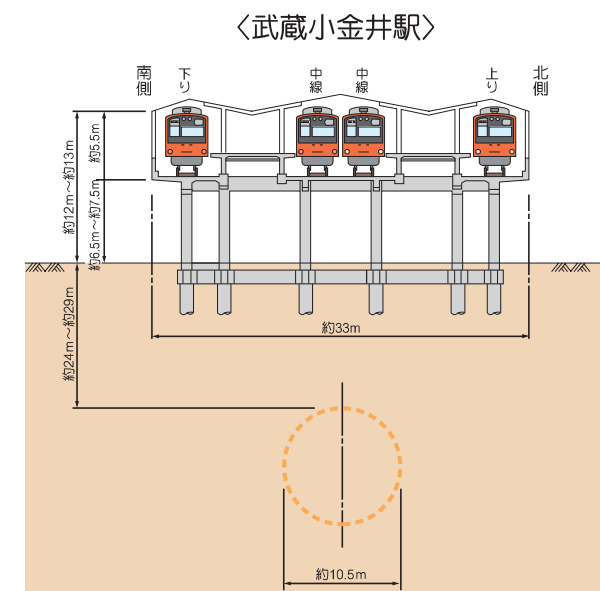
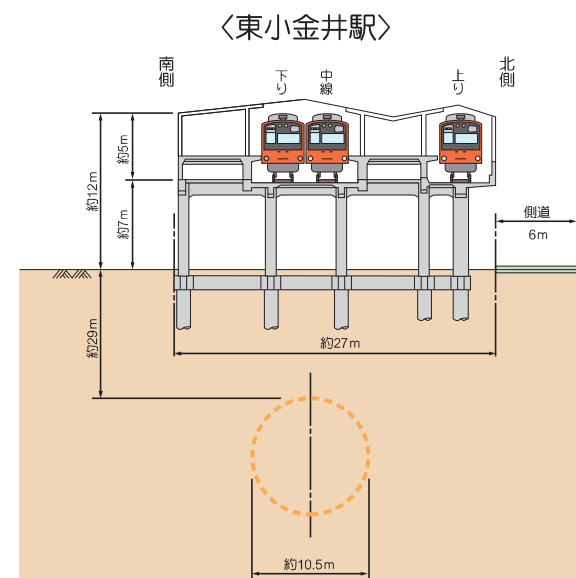
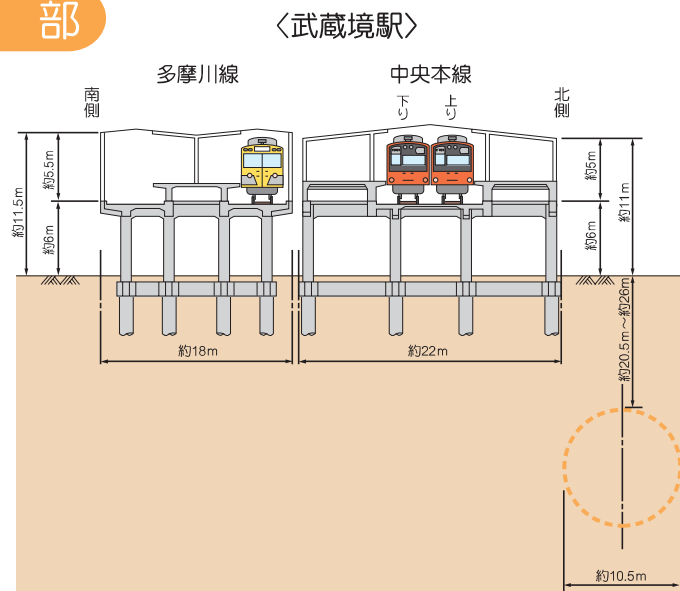
在来線が高架に切り換わった後、仮施設の撤去、側道工事および踏切施設の撤去などを行い、高架工事は完了します。



一般部



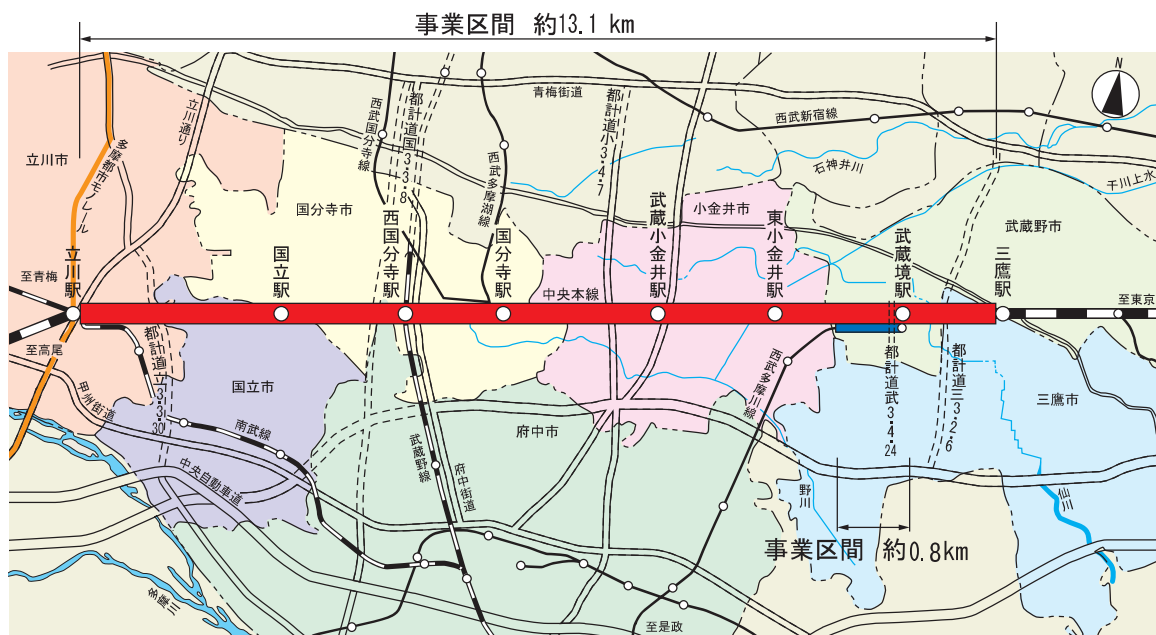
駅部



----- はJR計画線

この標準横断面図は三鷹方から立川方をみたものです。

位置図



連絡先

- 東京都建設局道路建設部鉄道関連事業課 ————— TEL.(03)5320-5333
- 三鷹市都市整備部都市計画課 ————— TEL.(0422)45-1151
- 武蔵野市都市整備部まちづくり推進課 ————— TEL.(0422)51-5131
- 小金井市都市建設部計画課 ————— TEL.(042)387-9859
- 国分寺市都市建設部都市計画課 ————— TEL.(042)325-0111
- 国立市建設部まちづくり推進課 ————— TEL.(042)576-2111
- 立川市都市建設部都市計画課 ————— TEL.(042)523-2111
- JR東日本東京工事事務所中央 ————— TEL.(03)3379-4384
- 西武鉄道株式会社工務部建設課 ————— TEL.(04)2926-2295

連続立体交差事業は「東京都が事業主体」となり、「道路の整備」の一環として施行する都市計画事業です。

水なし印刷を使用しています。
石油系溶剤を含まないインキを使用しています。

印刷物規格表 第一類

印刷番号(17)62

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています



H17.11